

第5章 計画の推進体制と評価

第1節 推進体制

本計画は、市民、地域、行政が一体となり、「市民が主役！自ら取り組み、地域で共に支え合い、誰もが健康で心豊かに暮らせるまち“まつど”」の実現を目指すための計画です。

そのため、学識経験者をはじめ、地域団体、行政機関、市民等を構成員とする松戸市健康づくり推進会議（以下、「推進会議」とする）において、健康づくりに関する新たな事業の推進や環境整備に関する企画立案、実施方法の検討などを継続して行っています。

第2節 推進・評価スケジュール

本計画は令和7年度から令和18年度までの12年間の計画期間としています。計画の進捗状況を確認するため、令和12年度に中間評価を行います。

中間評価で把握した課題を踏まえ、計画を見直し、計画後半の取組を強化します。

計画最終年度の前年度である令和17年度には、計画の最終評価を行い、次期計画の策定に活かします。

時期	経過年	内容
令和7年度～	1年目～	新たな事業の推進や環境整備に関する企画立案、実施方法の検討
令和11年度	5年目	中間評価に向けたデータ収集
令和12年度	6年目	中間評価・計画の見直し
令和16年度	10年目	最終評価に向けたデータ収集
令和17年度	11年目	最終評価
令和18年度	12年目	次期計画策定

第3節 計画の評価

計画の評価にあたっては、各目標に対して設定した評価指標で取組の達成度を測ります。

取組目標の評価は、市民の行動目標や環境づくりの目標ごとに設定した指標の変化を確認します。指標には市民アンケートや市の事業で得られるデータ等の各種関連統計データを使用します。

強化目標は、複数の分野の取組成果による健康状態の改善状況を確認します。指標には市の事業で得られるデータ等の各種関連統計データを使用します。また、最終目標の評価は健康寿命の延伸そのものを指標とします。

なお、計画の進捗管理と評価は「推進会議」において実施していきます。

本計画の評価指標一覧は＜資料編＞の81～84ページに掲載しています。